



文部科学大臣表彰の「創意工夫功労者賞」受賞

株式会社 最上インクス

知恵の使いどころ

試作加工とは、1回限りの生産であり同じ物を2度作る事はありません。毎回違う物を作るにあたり「どんな順番で、どんなツール(金型、道具)を使うか」など独自の創意工夫、発想力が出来栄えに大きく影響を与えます。特に金型の構造、設計は知恵の使いどころです。



強み

「金型・工程設計等の発想力」と独自開発の「簡易金型システム」

「豊富な経験に基づく薄板金属加工ノウハウや匠の技」と「柔軟な発想力を有する技術開発陣」の融合による工程設計力。それに加えて、積層・レーザー・リーフ・アクリル・方式のカセット型など最低限必要な機能に絞り込んだ独自開発の「簡易金型システム」、それらを活用した「精密試作加工技術」による“ものづくり力”。

プロフィール

『薄板金属加工のコンビニ』で、今後の日本のものづくりの在り方のモデルをめざします！各種技能賞を受賞。近年では、平成20年に文部科学大臣から創意工夫功労者賞や日本塑性加工学会から技能開発者賞など多くの受賞を受けている。7年前より、試作と言う知識集約的な仕事を京都の成長産業にするとの思いで『京都試作ネット』を共同で立ち上げ、メンバー企業としてその運営に参画している。

実績・成果

この10年間で試作売上が大幅増。(約500%増の10億円)
●最近では試作FC化という新たなビジネスモデルを発想し、加工業のFC化やその為のインフラ設備として、小型・小スペースの独自加工機器の開発を進めている。



●試作加工を通じ、「お客様の薄板金属でこれが出来たら、、、」に対応する事で、大手企業様から共同開発依頼、工法開発等の案件依頼が多数有り。



第17回 造形を主眼とする組立品の部
「技能奨励賞」受賞「カマキリ」



08年度製作の「カブトムシ」

弊社が「昆虫シリーズ」にこだわるのは、蚊が暗闇の中でも刺す箇所を的確に探し当てる能力を持つように、昆虫はマイクロマシンそのものと思えるからです。これからも「薄板金属での可能性を発想、創造」し続けます。



京都・知恵ビジネス・ワークショップ